

未来は、自分の手でつくる -「学びを形に変える」には-

6日の学年集会では、「自分の手でつくり出す未来」をテーマに、京都大学3年生の紺谷美帆さん（河北台中学校・金沢泉丘高校卒）にお話をいただきました。これから進めていく探究活動に向けて、失敗を恐れずに挑戦することや、自分の選択に当事者意識をもって行動することの大切さについて考える機会となりました。探究学習は、自分の問いに向き合いながら試行錯誤を重ねていく学びです。そうした経験の積み重ねが、やがて学びを形に変えていく力につながっていきます。これからの活動の中で、生徒一人一人が主体的に問いに向き合い、自分なりの学びを深めていくことを期待しています。



生徒の「振り返り」より(一部抜粋)

- 自分がこれから進む道はどの道もいろんな面白いこともあったり、いろんな面白さがあると知って、これからは、どんな探究や学習をしても面白さを感じていきたいなと思いました。
- 失敗を恐れずに挑戦することの大切さがあらためてわかりました。迷ったときは、まだやりたいと思う気持ちが残っているか考え直して真剣に考えたいと思いました。後悔しないように少しでもやりたいと思ったことに挑戦していきたいです。
- 挑戦することが大切だと学びました。私は挑戦することが失敗するかもとなかなか出来ないことがあるけど、ちょっとずつ挑戦したいと思いました。その一つとして、今2回目の探究活動に入ろうとしているけど、やってみたいなと思って失敗するかもと思っていてやめようと思っていたけど、まずは案を計画するところから始めてみようと思いました。
- 中学生の時の探究活動がとても将来につながって大切だとわかりました。これからの探究活動では失敗を恐れすぎず、目の前のことをしっかり頑張っていきたいと思いました。自分のやりたいこと、学びたいことを今のうちにやって将来に活かしたいです。今まで当事者意識を持って行動することが少なかったなので、紺谷さんのお話を聞いて当事者意識も大切にたいと思います。
- 一回やったことを心残りをなくすためにもう一回挑戦するという考えがすごいと思いました。挑戦をするたびに自己分析をして、自分をすごく見つめているのがかっこいいと思いました。発表をすることが少ないので、これから発表をしようと思いました。勉強だけじゃない学びが将来に繋がると聞いて、探究活動についてしっかり取り組みたいと思いました。
- 私は正直に言って将来何をやるかが決まっていません。それがすごく嫌で怖かったです。だけど、今日初めて学んだことが今まで一番ありました。今しか触れられないものや今にしかできない学び、いつに活かすことができるかわからない学び、そういった自分にもできる小さいことから大きいことに挑戦してみたいです。私は努力は必ず報われると信じています。だから私が苦手なものの小さいことから始めてたくさん努力します。
- 探究学習の重要性や、探究のチャンスがあったら積極的にやれば良いと知った。そして、考えたことは、自分の殻の破り方を考えたいと思った。紺谷さんだったら失敗しても自分が選んだ道ならできる！みたいな自分の座右の銘みたいなものを持っていたので、僕は自分のスタイルに合ったマインドを持ちたい。



○「挑戦を恐れずに当事者意識を持って行動をする」ことで新しいことにも気づくことが出来ると思いました。テストや探究など皆が同じ方向を向いて一生懸命頑張ることは、とても大切なことだと分かった。ですが、皆が同じ方向を向いて頑張ること、とても難しいことであると思いました。どうすればできるのかを考えたり聞いてみたいと思いました。



○特に挑戦を恐れずに当事者意識をもって行動するということが大事だとわかりました。将来の意思決定では、「当事者意識」「チームとして一つの方向に向かう」「多様な経験から出会えた『人』」などいろいろな話の中での結論としては、「前向きで素直な直感」を大事にということや好奇心、やりたい姿、やりたいこと、ワクワクすることを大事にすることが大切だということがわかった。

○紺谷さんはこうしていただけれど自分だったらどうしただろうと考えたときに、深く考えずに決めてしまうだろう、放り出してしまおうだろうなどという考えが浮かんできて、自分の未熟さに気づけました。また、私も失敗することが嫌で、失敗は怖いものと考えていたけど、紺谷さんは失敗を成功への道と考えているとわかり、自分もその考えを見習いたいと思いました。なので、そのために意識的に挫折経験を振り返り、次に生かせるようにしたいです。とてもいい経験になりました。

○探究活動をしていて、失敗したり次に繋がらなかったりしてやめようかと思ったり、でも違う視点から見ればまだ可能性があるんじゃないかとか思ったりしていました。紺谷さんのお話の中で決めきれないならその理由をはっきりしたらいいということを書いて、私はその理由も自分ではっきり決められていないと感じました。やめたり違うことを探究するのも一つの道だけど、希望があるなら諦めない道を進んでみようかなと思いました。

○周りとは違うことをするのが嫌いで、周りと一緒にじゃないと不安になったり、ただ面倒くさくてやる気が出なかったりして挑戦することをしていなかった。けど、今日の学年集会で、挑戦をしたら、自分が今まで使われることはないと思いながらやってきた経験を活かすことができるし、それをいずれ楽しむことができると学びました。そして、過去に目を向け、失敗を恐れず、悩んだときは、決めきれない理由を考えたいと思いました。

○そこそこでいいやみみたいな気持ちはやめて、自分の限界を出して頑張れるものをしようと思いました。全力でやれば、成功したときは嬉しいだろうし、失敗してもそれを失敗と思わず次成功するための鍵と思えると思います。そして、それを次に必ずつなげて探究や他のこともやろうと思いました。

○失敗が怖いから挑戦しないのではなく「とりあえずやってみる」「自分が決めたことだから自分がなんとかするしかない」というマインドが一番印象に残りました。また、明確に「これがためになる将来の役に立つ」といったことはないけれど、とにかくいろんなことをしてみることが大切だと知ることができました。僕も、まだ拳手しなかったりするけれどまずは大きなことをするより、一日一日の小さなことから挑戦したいです。

○勉強や部活以外にも思いがけない出会いが人生の中であるかもしれない、「学びは形になる」ということが分かり、未来は何が起きるかわからないので、今から少しずついろんなことに挑戦してみたいと考えました。何かをするときは挑戦すること、そして当事者意識で行動するなど、色々ためになることがありました。私は将来につながることをしたいけれど、紺谷さんは将来につなげるためのことをやるより、今の自分がしたいことをするという方が思いが強かったので驚きました。

○答えのない問いを考えることが好きとおっしゃっていたけどなんでか不思議に思いました。私だったら、すぐくもやもやして諦めたくないのですごいいいと思えました。あとどんなことでも「自分が決めたこと」と考え、前向きに考えていきたいと思えるようになりました。

紺谷美帆さんからのメッセージ

これから先、色々な場面で困難に直面したり悩んだりすることがあると思いますが、どんなときも「こうありたい、こうしたい」という希望や「これはどうなんだろう？」という好奇心を大切にしてほしいと思います。与えられた道も自分で選んだ道も、自分次第でどこまででも意味のあるものにできます。ぜひ挑戦することを忘れず、何事も楽しんでください。

皆さんの質問に対する回答です！

先日は皆様の貴重なお時間をいただきそのようなプレゼンの場を開かせていただき、誠にありがとうございました。

私自身も生徒さんの姿勢や考えから学ぶ部分がたくさんあり、とても有意義な時間だったと感じております。

以下は生徒さんたちの質問に対する私なりの回答およびメッセージです。（*メッセージは表面に記載してあります）

①テストや探究など皆が同じ方向を向いて一生懸命頑張ることは、とても大切なことだと分かった。ですが、皆が同じ方向を向いて頑張ること、とても難しいことであると思いました。どうすればできるのかを考えたり聞いてみたいなと思いました。

私が一番大事だと思うのは、全体の目標や志を明確に認識し、それに付随して自分にできることは何かを考えることだと思っています。目標は認識できていても、そこに対する個人の思いや本音は案外わかっていないことが多いです。それを腹を割って話したり聞いたりして、一人ひとりの思いと目標がすり合わさると、個人としても全体としてもエネルギーが湧き出てくるのではないかと思います。

時間などの制限はあるとは思いますが、掘り下げてみると見えなかったものがパッと見えてくることが多いです。そこを踏み出すと、自他共に深く理解できるのではないかと思います。

②答えのない問いを考えることが好きとおっしゃっていたけどなんでか不思議に思いました。私だったら、すぐくもくもやして諦めたくないのですごいいいと思いました。

答えのある問いと答えのない問いに関して得意苦手があるのは当然だと思います。そんな中で、私は皆さんに「答えのない問いを楽しむこと」も大切にしてほしいと思っています。その理由は主に2つです。

1つ目は、これからの未来では、答えの見えないことがたくさんあるということです。これは上谷先生もみなさんに伝えているのではないと思うのであまり長々と書きませんが、答えが分からない状況の中で、考え続け、行動し続けることはとても大事な力です。

2つ目は、答えのない問いに対して自分で答えを作り出して行動すると、自分で新しい価値を創造することができるからです。この感覚が、自分自身の人生を作り上げ、彩ってくれるものとなります。何が起きても「経験」として楽しみ、自信をもつことができます。

答えのない問いを楽しむことはまさに「挑戦」だと思いますが、この殻が破られたとき、それこそが自分らしい道への大きな一歩になると思います。

拙い回答ですが、生徒の皆さんにとって何かのヒントになれば幸いです。

他にも何か質問や意見などがございましたら、いつでも連絡をお待ちしております。

改めて、素敵なお時間をありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。